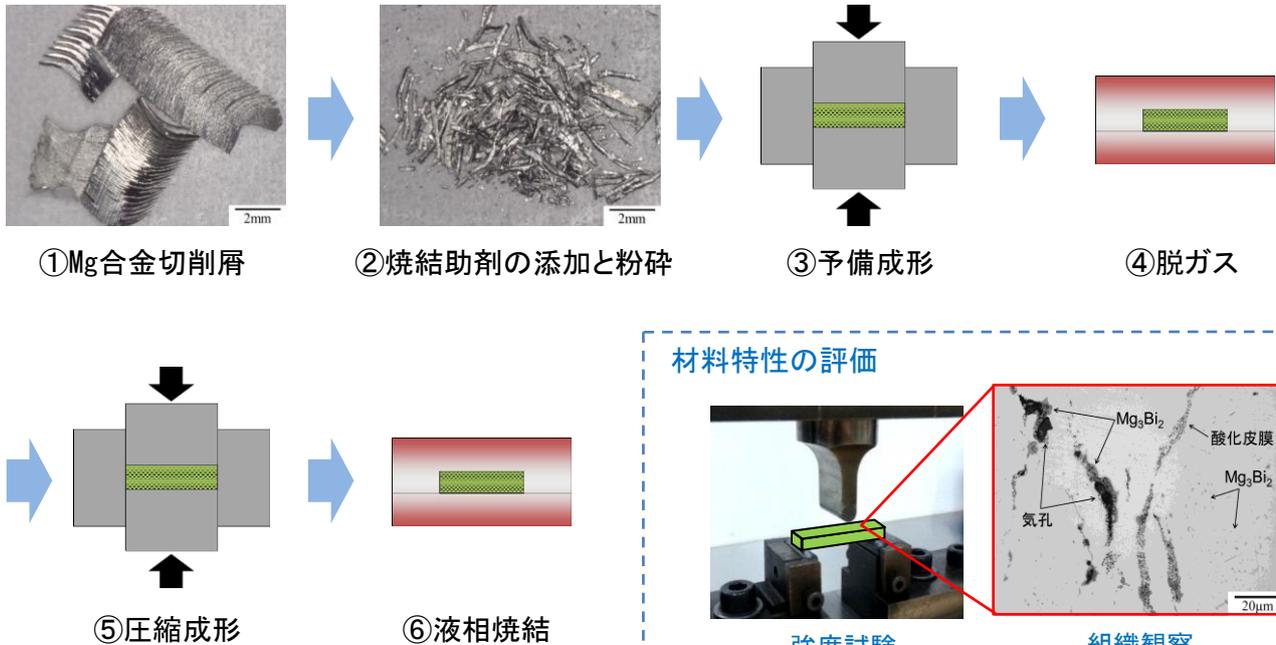


マグネシウム合金切削屑の無加圧焼結による再生

マグネシウム合金の製造過程で生じる切削屑の再生法として、従来の強加工を用いない焼結法（無加圧焼結法）を提案します。

本技術の内容・特徴

難焼結マグネシウム（Mg）の液相焼結法（特願2013-95732）の応用として、固化成形が非常に困難なMg合金切削屑の再生を検討しました。



従来技術に比べての優位性

- ①単軸成形によって製品形状が得られやすく、後加工がほとんど不要
- ②酸化皮膜を介した焼結でありながら、新たな合金系の液相焼結技術によって、鋳造材に劣らぬ強度と延性を発現

予想される効果・応用分野

- ①マグネシウム製品の需要増加にともなう切削屑の処理問題への対応
- ②輸送機器および電子機器関連の軽量素材プロセスへの展開

提供できる支援方法

- ▶ 共同研究
- ▶ オーダーメイド開発支援（試作加工）

知財関連の状況、文献・資料

▶ 知財関連

特願 2013-95732

▶ 文献資料

岩岡 他, 平成26年度都産技研研究成果発表会要旨集, p. 31

http://www.iri-tokyo.jp/joho/seika/h26_youshi/documents/mono1_01.pdf

本部 機械技術グループ

岩岡 拓

Tel : 03-5530-2570

E-mail : iwaoka.taku@iri-tokyo.jp